

古九谷再現に生涯をかけた、
陶匠の粹



初代 徳田 八十吉展

2015.11.2.mon > 11.24.tue

平成記念美術館 ギャラリー | 観覧無料 | 10:00~18:00

〈休館日〉日曜 〈会場〉(株)平成建設 世田谷支店 〈主催〉(株)平成建設



古九谷から受け継がれる技と心

初代 徳田八十吉(1873年～1956年)は、昭和28年に九谷焼上絵付で重要無形文化財保持者の認定を受けました。九谷焼は“ジャンクタニ”として、明治20年代には日本から海外への輸出陶器第1位を誇り、世界中の賞賛を集めていました。内国勧業博覧会や万博で好評を得て、九谷陶画工同盟会創立など産業振興の気運が高まる九谷で、14歳の八十吉は小学校高等科卒業後に絵画の勉強を始めました。家業の染物業と兄の陶画工場の絵付けを手伝い、窯元で染付けを学んで20歳で独立。古九谷の研究を重ねた古九谷吉田屋の写しから創造の九谷焼へと昇華、次々と品評会褒賞や博覧会優等賞を受賞していきました。近代工芸作家の先駆者として活躍した初代 八十吉の技と色をお楽しみ下さい。

初代 徳田 八十吉 Yasokichi Tokuda

- 1873年 石川県能美郡小松大字町(現小松市)の染物屋に生まれる
- 1890年 義兄松本佐平(佐瓶)に師事、陶芸の道に進む
- 1922年 東宮殿下成婚慶典に奉納される花瓶を制作
- 1928年 御大典の折、萬歳楽置物を制作献上
- 1953年 文部省より重要無形文化財保持者の認定を受ける
- 1956年 逝去(享年82歳)

初代没後、二代 徳田八十吉(養子の外次)、彩釉磁器で重要無形文化財保持者の認定を受けた、三代 徳田八十吉(孫の正彦)が九谷焼の技を昇華させ、現在は、四代 徳田八十吉が伝統を受け継いでいます。

- 1.「古九谷写石量紋大皿」H5.8cm φ46.6cm
- 2.「古赤絵風獅子撮長角香炉」H14.9cm W9.5cm D7.4cm
- 3.「古九谷写人物樹木図花瓶」H45.2cm φ20.1cm
- 4.「蒲公英花瓶」H35.4cm φ21.1cm
- 5.「豊穠打出小椀型香合」H3.3cm W9.0cm
- 6.「柘榴紋唐獅子図花生」H21.7cm φ20.2cm

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】03-3426-1103

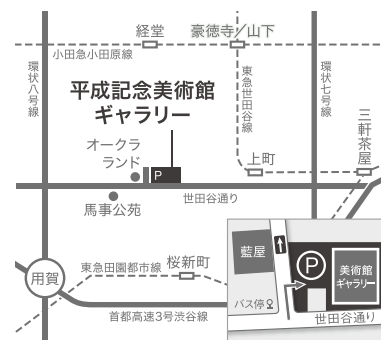
開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

駐車場：全5台

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

【電車】 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分
 【お車】 馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m
 【バス】 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋谷24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



次回展覧会

2015年11月30日(月)～12月25日(金)

100年を経て里帰りした装飾陶磁器

「時空を超えるオールドノリタケの魅力」展

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。

2015年 グッドデザイン賞 W受賞

この度、平成記念美術館ギャラリーを併設する平成建設世田谷支店は、2015年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。また、低市場価値材を活用した壁構造の家「木のカタマリに住む」は、グッドデザイン・ベスト100を受賞しています。受賞作品は、東京ミッドタウンで開催されるグッドデザインエキシビジョン 2015 (G展) で紹介されます。

グッドデザインエキシビジョン 2015 (G展)
 会期：10月30日(金)～11月4日(水)
 会場：東京ミッドタウン(東京都港区赤坂)
<http://www.g-mark.org/meeting>